

令和6年度

事業報告書

特定非営利活動法人ゆどうふ

1 事業の成果

【令和6年度総括】

令和6年度はゆどうふが活動を開始して20年という節目の年となった。これまで様々な経験と困難を経つつも共感、共鳴を寄せてくれた理解者の支えのもとに活動を継続できたのは有り難いことである。2015年にNPO法人格を取得して以降は2004年立ち上げ以降のイベント中心の活動から町田市を中心に日常生活支援を行う団体へと活動モデルの大きな変化があった。法人化してからの9年間は常設の居場所を拠点に置き、ひきこもり状態の若者、家族に対する支援活動を行う傍ら、従来の活動である自己表現に対する支援を目的とした音楽イベントやアーサションの実施を行ってきた。

事業の多くが委託や補助金に紐づけられないいわゆる自主事業であり、収益面では試行錯誤してきたが、一方で外的価値観や社会的な要請に過度にとらわれない自由度が高い中で事業を推進することができた。目の前の社会課題に対して煩雑な手続きなく直ちにアクションをとることができるという点はNPO法人の大きな強みである。今後もこの強みを活用した事業展開を視野に見据えていきたいと考えている。

一方、この9年間で事業に関わる職員、ボランティアスタッフ、地域住民や関係機関等ステークホルダーも増えた。自治体含め地域におけるゆどうふの知名度も高まりつつあり、講演や委員会への参加等外部からの依頼・要請も増えつつある。

限られた資金とマンパワーの中で、地域では数少ない「ひきこもりの若者支援」を標榜する団体として今後どのようなスタンスを築くか、今年度はしばしば考えさせられる1年であった。

・若者支援事業

若者、ひきこもり支援分野においては高齢ひきこもり世帯の増加が社会問題化される一方で、青年期ひきこもりに対する予防支援が立ち遅れ、まさに課題が山積する状況である。国、自治体もさまざまな施策を検討しているが未だ有効なインフラは整備されておらず、多様な若者の権利が尊重され自身の人生を主体的に生きられるという状況には至っていない。インフラとして整備されていないということは現時点において支援の具体的な中長期ビジョンが描きにくいこと、利用する若者や家族、従事する職員に対して継続的に必要な環境を用意することの難しさにつながる。

こうした課題の解決に向けて、ゆどうふでは2024年9月に有志で「ひきこもる若者の居場所を考える会」を立ち上げ、その事務局団体として公的な居場所設置を市に働きかけるべく定期的に会議を続けている。

また今年度は外部助成金に依存した収益構造の見直しの一環として、下半期より支援料金の改定を行った。支援料金の見直しは法人化以降初である。

・自己表現サポート事業

アサーション事業については前年度にひきつづき主にワークショップ講師の育成を中心に展開を目指した他、職員会議にて毎回アサーションについて学習する時間を設けることで理解の深化を目指した。また社会福祉法人、社会福祉協議会からの研修依頼もあり、ゆどうふにおけるアサーション研修の知名度は広がりつつある。

また文化活動に関しては、2018年より実施しているこども若者支援団体対象の多文化イベント Youdo ! Festival は過去最多団体のエントリーがあった。イベント実施の準備会である実行委員会には数多くの若者も参加し。ふりかえりでは同イベントの年複数回実施を希望する声もあがった。

【職員/ボランティア体制】

前年度同様、常勤職員1名体制の中、情報共有や事業体制の維持安定に注力しながらの運営を行った。今年度は特にそれぞれの事業に担当・副担当を配置し、各事業ごとに計画立案、運営を図る「事業自律化」を目指す体制作りを推進した。

・自主事業

個別支援においては前年度と比較してカウンセリング、アウトリーチとともに件数は増加した。今年度は徐々にではあるが専門支援に有資格者の有償ボランティアスタッフへの対応依頼など事業担当者の拡大を図った。

居場所運営においてはフリースペースふらっと職員3名（藤原奈緒子氏、奈良橋修氏、成沢知紀氏）とボランティアスタッフである福永悠氏を中心となり合同での運営を進めた。1ヶ月に1回、ふらっとスタッフミーティングを行い、情報及び課題共有と意見交換を行った。

・わらしべワークプロジェクト

今年度も独立行政法人医療福祉機構の助成事業として、事業担当の成沢知紀氏を中心に事業を推進した。事業の進捗共有や検討については主に「わらわらミーティング」（事業担当と代表による会議）、事業立ち上げ期より継続実施している他機関との「わらしべ実行委員会」を通して行った。また担い手として2名のわらしべサポーター（ワークに同行するボランティアスタッフ）に入っていただき、事業の下支えをしていただいた。

【行政連携】

・町田市

令和6年度においては令和2年度以降委託を受けている町田市保健所本人グループ(マンボウ)、親グループの運営を行なった。前年度にひきつづき、同事業の在り方、進め方について意見交換をしながら進めている。

また前年度同様、町田市保健所ひきこもりネットワーク会議では代表者団体として会議の内容検討等に携わった。

・八王子市

一方、「八王子市居場所づくりネットワーク」には今年度もメンバーとして参加、居場所の試験的な開所やひきこもりに関する講演会、研修に携わった。特にはちまるサポート(八王子市内13ヶ所に設置されている重層支援体制整備事業拠点)のコミュニティソーシャルワーカーに対する研修依頼やはちまるサポートで実施している畠作業をゆどうふ利用者に紹介するなど、さまざまな面での協働、連携を図るこ

とができた。今後も連携の機会は増えることが予想される。

【地域連携】

前年度同様、町田市社会福祉協議会主催の「福祉○ごと相談会」にてひきこもり支援団体としてブースを出展したり、さがみはら若者サポートステーションとの合同相談会を企画・実施する等、地域の支援関係機関との連携を図った。

その他、誰でも参加できるスポーツ企画として「フットサル交流会」を定期開催したり、地域の寺社(光明寺)のイベントで音楽演奏したりと地域との接点作りとなる活動を多数展開した。

■2024年度地域連携（支援関連）

活動名	実施時期/回数	参加者	内容
福祉○ごと相談会 (町田市社会福祉協議会主催)	3回 (2024年7月19日、11月15日、2025年3月14日)	町田市社会福祉協議会、堺第2高齢者支援センター、堺障がい者支援センター、地域子育て相談センター、愛恵会乳児院ほか	会場は3回ともMrMAX町田多摩境店 各団体がブースを出しての相談対応/チラシ配布
合同相談会	2回 (2024年6月27日、2025年3月17日)	約20名 主に町田市、相模原市在住で支援先を探している本人、家族	さがみはら若者サポートステーションとの合同企画。両団体の説明の後、希望者の個別相談に対応。

■2024年度参加地域イベント

実施活動名称	実施日	内容
光明寺夏の音楽祭	2024年7月14日	音楽演奏
小山フードドライブ	2024年9月7日、8日	ブースでのボランティア
まちカフェ	2024年11月30日	ポップコーン販売その他

その他、今年度はWAM助成対象事業として東京都外への視察を実施したほか、地域社会資源への視察を実施した。

■2024年度団体視察一覧

視察先	実施日	備考
社会福祉法人町田育成会	2024年6月10日	職員研修
NPO法人若者就労支援ネットワーク静岡	2024年9月28日、29日	WAM助成対象
日野市居場所「たきあいあい」	2025年1月24日	活動視察
公益財団法人京都ユースサービス協会	2025年3月29日、	WAM助成対象

【講演、ワークショップ等】

今年度は法人化後、継続実施しているアサーションに関する研修、ワークショップ以外にも様々な依頼があった。特に近隣自治体とは研修受注後の打ち合わせ等を重ねることを通して関係構築を進めることができた。

■2024年度講演、ワークショップ一覧

実施先	実施日	内容
アサーション自主ワークショップ	3回（2024年6月8日～9日、11月9日～10日、2025年3月15日～16日）	アサーション
NPO 法人文化学習協同ネットワーク (さがみはら若者サポートステーション)	2回（2024年8月20日～22日、2025年2月4日～6日）	アサーション
NPO 法人湧和会（町田第2高齢者支援センター）	2024年8月21日	アサーション
社会福祉法人八王子市社会福祉協議会	2024年10月11日、2025年3月7日	チームビルディング
八王子居場所づくりネットワーク	2024年10月19日、11月2日	居場所サポーター養成
社会福祉法人社会福祉協議会東京西多摩ブロック	2024年12月13日	職員研修「多世代間コミュニケーションのポイント」
KHJ 町田家族会	2025年2月15日	わらしへ事業説明（若者登壇）
NPO 法人青少年自立援助センター板橋事業所（就労支援、学習支援）	2025年3月13日	職員研修「受け身な若者への対応について」

【その他】

- ・20周年記念イベントの実施（2024年12月7日）
ホテル町田ヴィラにて記念式典を開催、関係者約50名が参列した。
- ・寄附会議（2025年1月9日～）
寄附収益の増加と活動周知の拡大を目的に実施。ホームページの内容検討、寄附募集用チラシの作成、商工会議所への働きかけ等検討している。
- ・町田市議会健康福祉常任委員会議員懇談会に登壇（2025年3月4日）
町田市における若者・ひきこもり支援のインフラ化を推進すべく、町田市議会健康福祉常任委員会内の議員懇談会にて町田市内に常設の居場所設置の提言を行なった（実現には至っていない）。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 9113 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ひきこもり状態の当事者又はご家族に対する支援活動	フリースペース運営等	2024/4/1- 2025/3/31 の開所日計 184日 (月、水、 金、土曜 日)	フリース ペースふ らっと (東京都 町田市小 山町25 95- 1)	のべ 267名	ゆどうふ 利用登録 者等、生 きづらさ を抱えた 若者とご 家族	のべ 417名	1162
ひきこもり状態の当事者又はご家族に対する支援活動	ひきこもり当事者及びひ きこもりの子を抱える親 グループ活動指導事業	2024/4/1- 2025/3/31 の毎週金曜 日その他	町田市保 健所中町 庁舎、町 田市健康 福祉会館 他	のべ 110名	グループ 登録者他	のべ 121名 (当事者 61名、 親60名)	2172
ひきこもり状態の当事者又はご家族に対する支援活動	専門サポート事業	2024/4/1- 2025/3/31	フリース ペースふ らっと (東京都 町田市小 山町25 95- 1)及び 訪問先	のべ 449名	ゆどうふ 利用登録 者等、生 きづらさ を抱えた 若者とご 家族	のべ 607名 (当事者 570名、 家族37 名)	2913
ひきこもり状態の当事者又はご家族に対する支援活動	わらしへワークプロジェクト	2024/4/1- 2025/3/31	町田市小 山地区を 中心とし た市内各 地	のべ 86名	ゆどうふ 利用登録 者等、生 きづらさ を抱えた 若者	のべ 244名	2417
自己表現サポート事業	アサーションワークショ ップ	2024/4/1- 2025/3/31	フリース ペースふ らっと (東京都)	のべ 14名	アサシ ョンにつ いて関心 のある方	のべ 579名	79

			町田市小 山町25 95- 1)				
自己表現サポート事業	多文化イベント Youdo!Festival	2025/3/1(準備会は2024年9月～2025年3月で計10回実施)	【イベント当日】 スタジオ ACT 町田 【準備会】フリースペースふらつと（東京都町田市小山町2595-1）	のべ 35名	東京都、 神奈川県にある子ども若者支援団体 9団体	出演者・ 関係者等のべ 109名	370

(2) その他の事業
なし